

地域課題把握調査業務委託 報告書

平成31年1月31日

日本環境技研株式会社

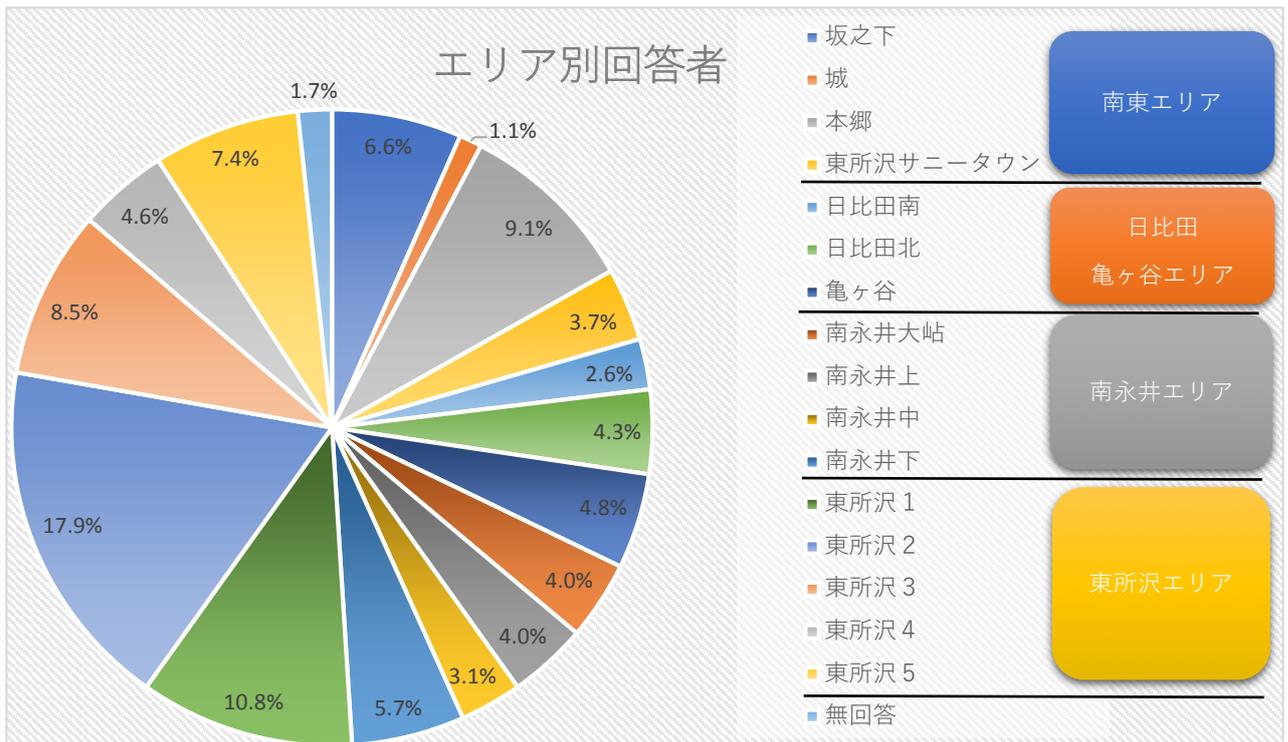
目次

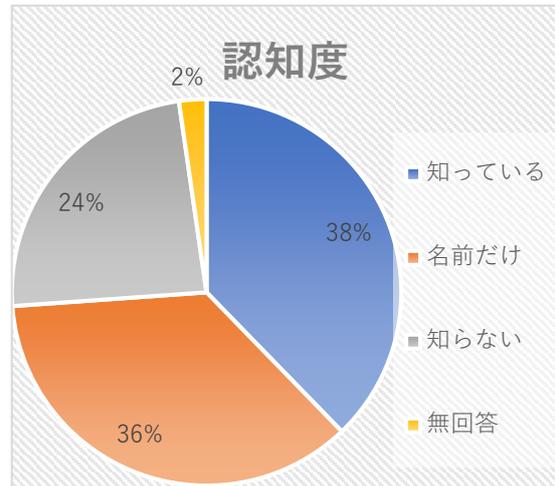
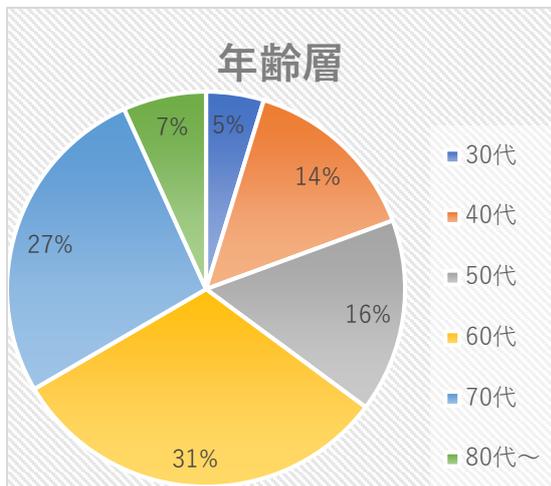
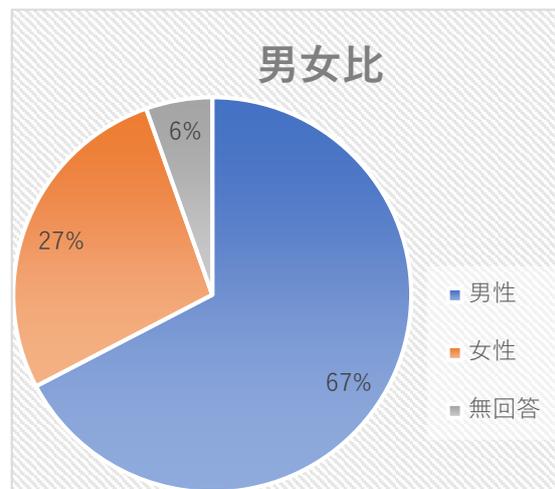
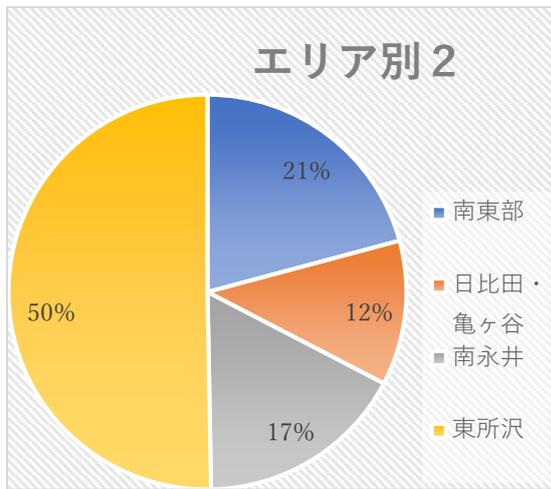
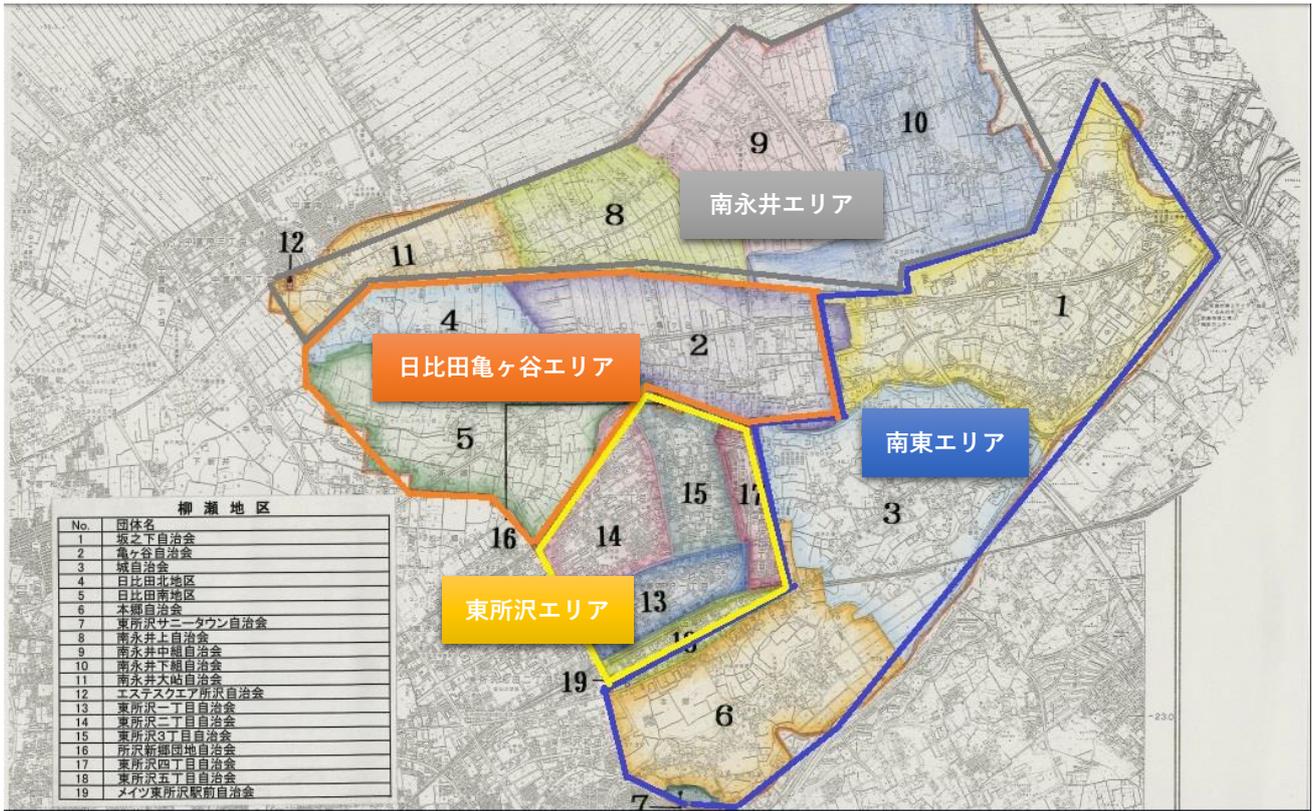
1. アンケート集計結果	3
1-1 全体集計	3
1-2 男女別集計	5
1-3 エリア別集計	7
2. 自由記載からの課題抽出(代表例)	11
2-1 項目別重点課題の整理	11
2-2 柳瀬地区の課題集計結果	15
2-3 重点課題の世代×エリア別集計結果	17
3. 他地域の事例	18
3-1 市民協働型コミュニティバスの事例	18
3-2 ゴミの分別に関する事例	19
3-3 WEBサイトを活用した情報発信に関する事例	22
3-4 地域で行われている歴史・教養講座	23
3-5 増加する外国人への対応事例(外国人向けのWEBサイトの活用)	25
3-6 地域の困りごとへの相談窓口事例	27

1. アンケート集計結果

1-1 全体集計

- ・ 今回のアンケート回答者数は351件であった。
- ・ 全体集計からは、どのエリアからも万遍なく回答が得られた。
- ・ エリアを四つに集約すると新興住宅である東所沢エリアと従来の住民との内訳はおよそ半々となることから分かる。また、男女比では男性比率が7割近くと高い比率となる。
- ・ 年齢別では60代以上の高齢者が6割以上を占める。
- ・ 認知度では、7割以上の人少なくとも名前は知っており、高い認知を誇る反面、その内容については把握していない現実が伺える。

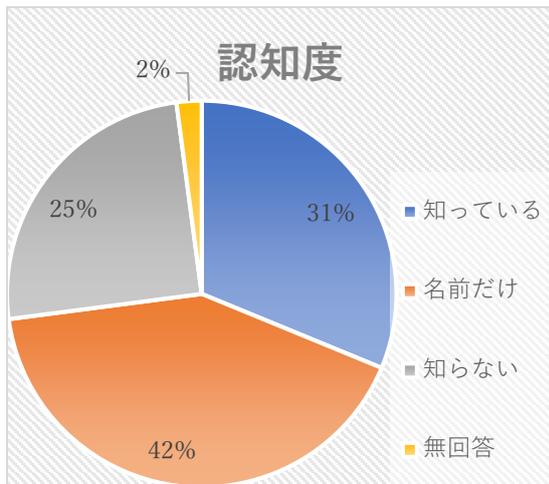
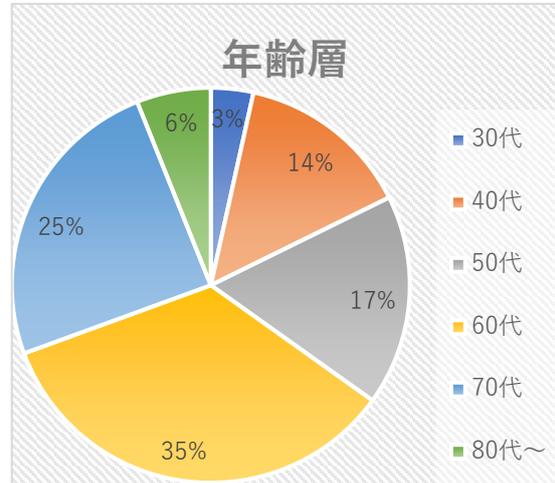
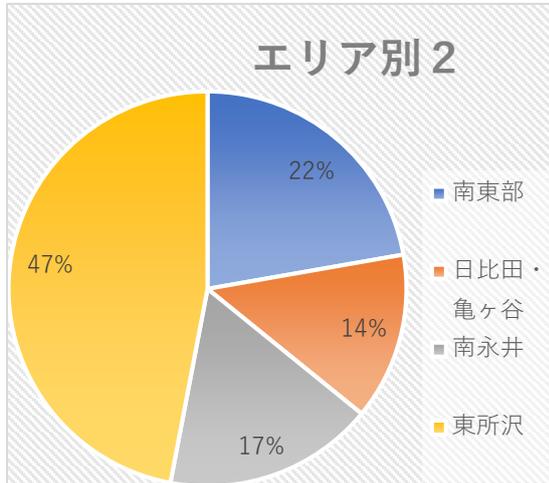




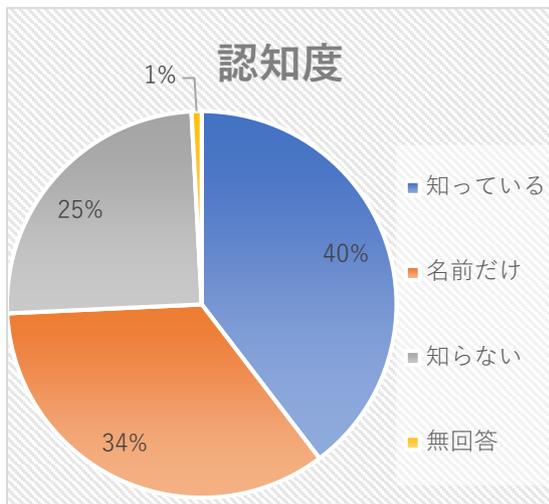
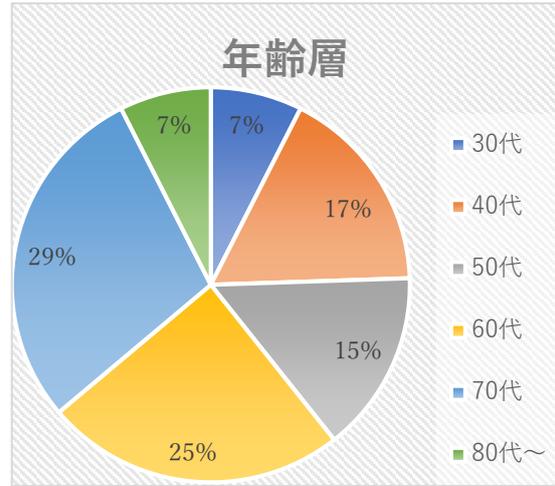
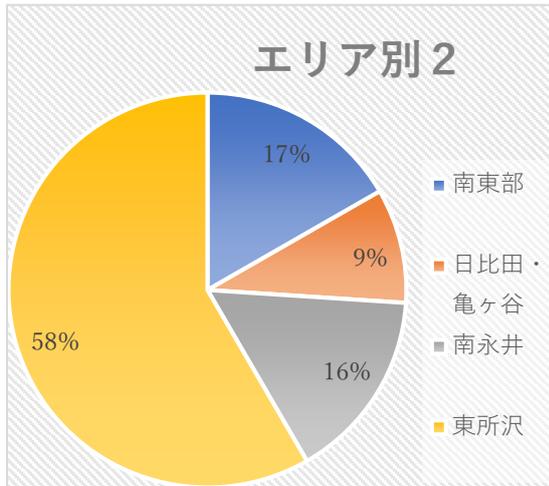
1-2 男女別集計

- 男女別集計からはエリア別の回答者数、認知度、回答者の年齢層のいずれの観点からも大きな差はみられず、男女間に大きな差はない。

i. 男性



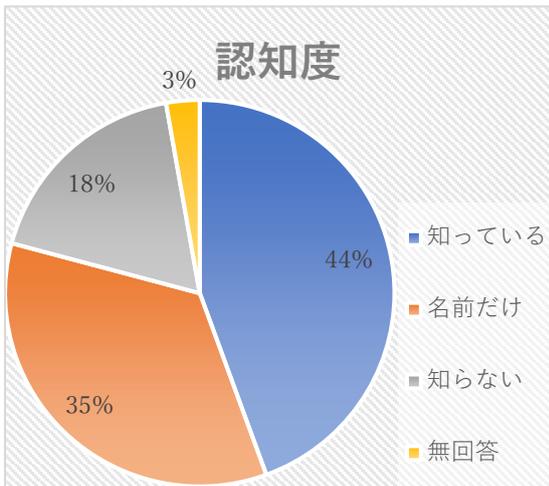
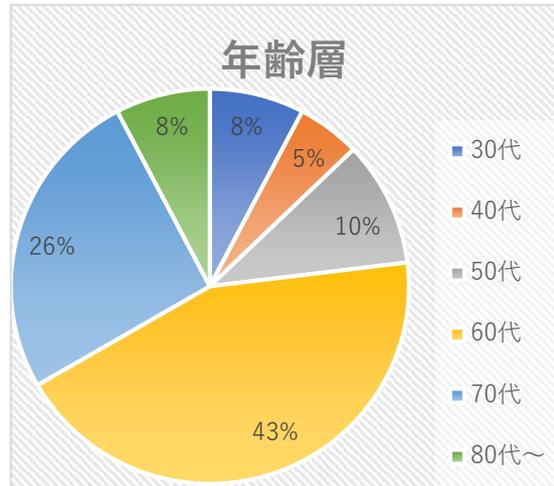
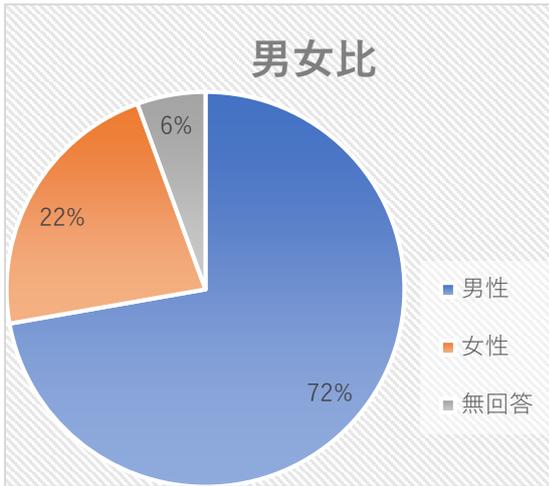
ii. 女性



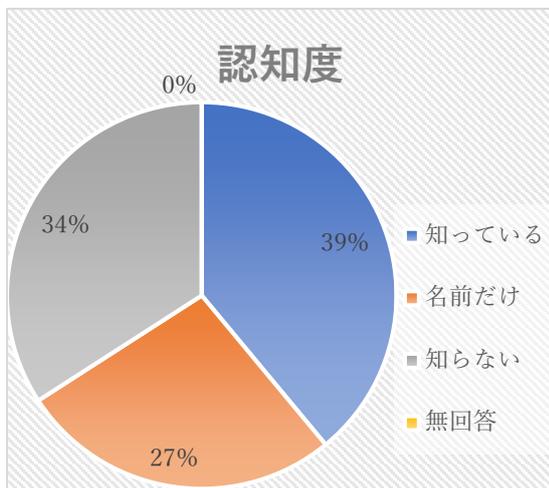
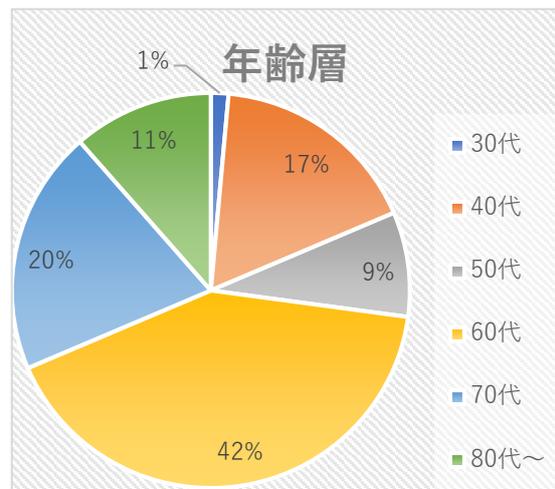
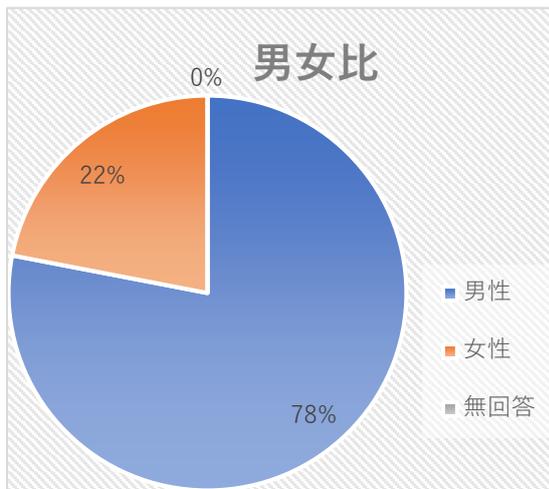
1-3 エリア別集計

- ・ エリア別集計からは、南東エリアにおいて他地域より高い認知度を示す結果となった。
- ・ 年齢層集計では南東エリア、日比田・亀ヶ谷エリアについて特に 60 代以上の回答者が多く、新興住宅と思われる東所沢エリアも 60 代以上が過半数を越す。
- ・ 認知度に大きな差は見られず、エリア間に大きな差がないことがわかる。

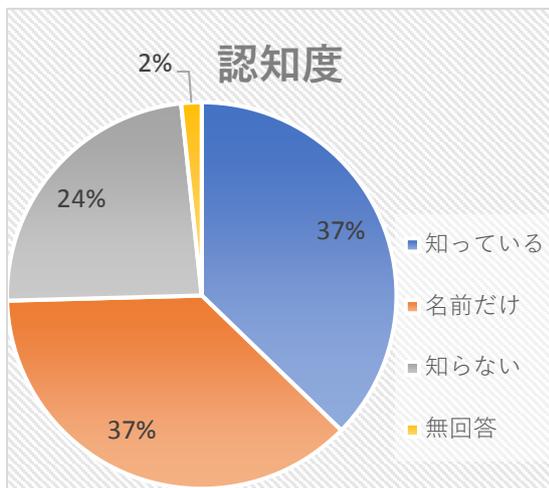
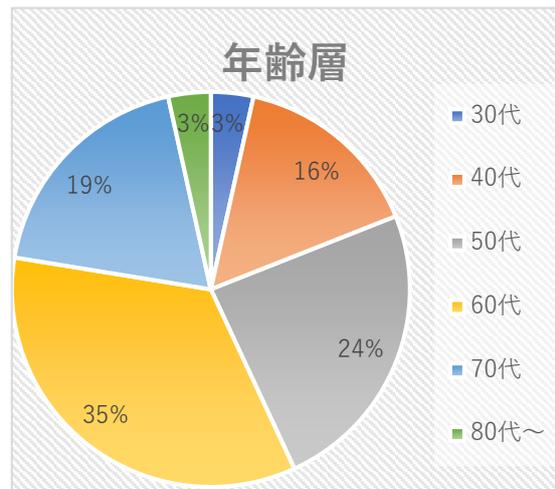
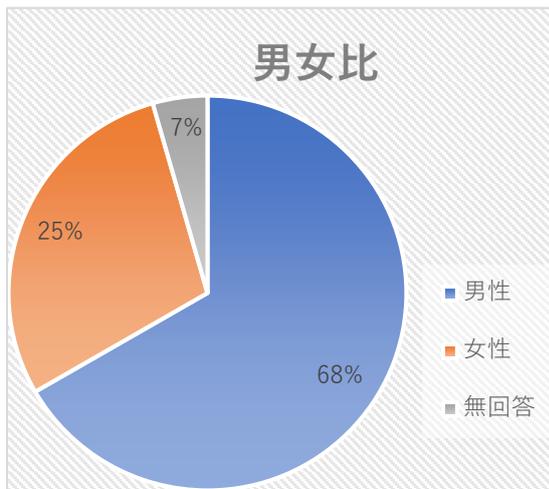
i. 南東エリア



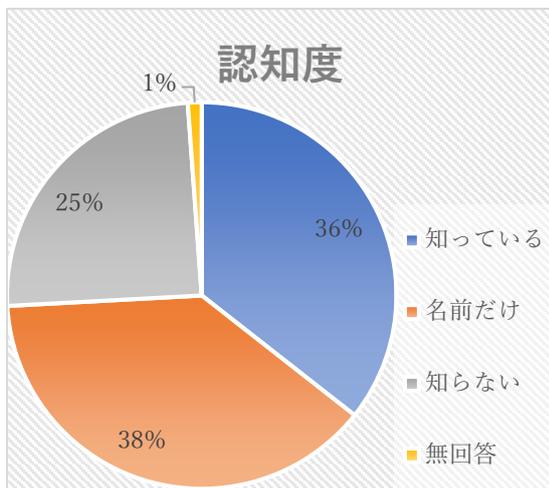
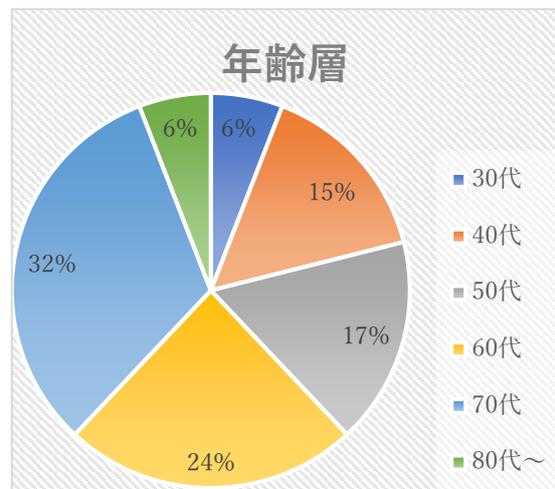
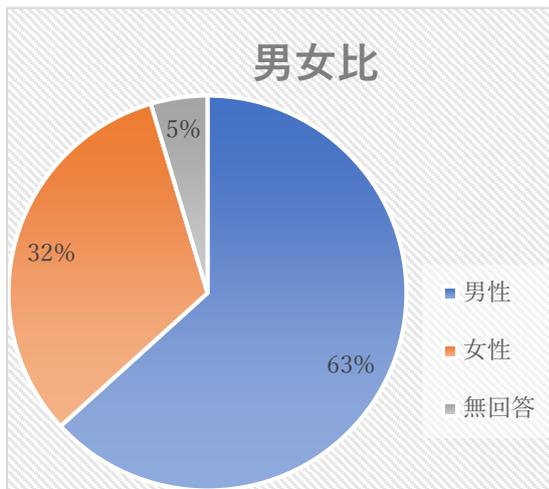
ii. 日比田・亀ヶ谷エリア



iii. 南永井エリア



iv. 東所沢エリア



2. 自由記載からの課題抽出(代表例)

2-1 項目別重点課題の整理

以下に自由記載に関する回答内容を整理して示す。

まず項目別に回答数の多かったものについて件数を含めてまず整理する。回答のあった少数意見についてもその後に整理する。

i. 地域コミュニティ

- ・地域コミュニティに関しては、「バスの増便」ならびに「駅周辺の活性化」に関する意見が多かった。その他、「東所沢駅の改札口増加」、「インター周辺の活性化」に関する意見も多く見られた。
- ・少数意見ではあったが、「下水整備・清掃」、「役所の緊急放送・防災無線が聞きづらい」、「駅ビル整備」といった現行の市行政に関する改善要望も見られた。

- ① バスを増便してほしい (19 件)
 - ② 駅周辺の活性化を行ってほしい (16 件)。
 - ③ 東所沢駅の改札口を増やしてほしい (13 件)
 - ④ インター周辺の活性化を行ってほしい (11 件)
- ・ 下水の整備・清掃を行ってほしい。
 - ・ 外国人への対応を考えてほしい。
 - ・ 駅ビルを建ててほしい
 - ・ 通勤時間帯の駅前通りが送迎の車で混雑するので対応・対策を考えてほしい。
 - ・ 役所の緊急放送や防災無線が聞き取りづらい

ii. 地域福祉

- ・地域福祉に関しては、「バスの増便」に関する意見が圧倒的に多かった。更に、「買い物への支援」、「病院を増やしてほしい」に関する意見も多く見られた。
- ・少数意見ではあったが、「児童発達支援の放課後デイサービスの子どもたちに対する地域交流支援」、「買い物・通院支援(車の運転ができなくなった人に対して)」といった意見も見られた。

- ① バスを増便してほしい (42 件)
 - ② 買い物への支援を行ってほしい (11 件)
 - ③ 病院を増やしてほしい (9 件)
- ・ 児童発達支援の放課後デイサービスの子どもたちが地域の交流をしたいと言っていた。
 - ・ 車の運転ができなくなったら、買い物や通院が困難になる

iii. 青少年（こども）

・青少年（こども）に関しては、「子供の遊び場の増加」、「歩道・通学路を含む道路整備・拡張」、「通学路の安全確保」、「保育園・学童保育の拡充」に関する意見が多く見られた。
・少数意見ではあったが、「公園が少ない」、「子供食堂の開設」といった意見も見られた。

- ① 歩道・通学路を含む道路の整備・拡幅を行ってほしい（11件）
 - ② 子供の遊び場を増やしてほしい（10件）
 - ③ 通学路の安全確保を考えてほしい（7件）
 - ③ 保育園、学童保育が増えてほしい。また選べるようにしてほしい（7件）
- ・公園が少なく、未就学児の遊び場がない。
 - ・子ども食堂の開設

iv. 生活環境

・生活環境に関しては、「ごみの出し方・マナーの改善」に関する意見が圧倒的に多かった。また、「害獣・害鳥対策」に関する意見も多く見られた。更に、「ペットのマナーの改善」、「バスの増便」に対する意見も多く見られた。
・少数意見ではあったが、「歩道・通学路を含む道路の整備・拡幅」、「大雨時の冠水対策」といった意見も見られた。

- ① ゴミの出し方、マナーが悪い（52件）
 - ② 害獣、害鳥対策を行ってほしい（23件）
 - ③ ペットのマナー(糞尿の始末など)を啓蒙してほしい（7件）
 - ③ バスを増便してほしい（7件）
- ・歩道・通学路を含む道路の整備・拡幅を行ってほしい（5件）
 - ・大雨が降ると冠水する。

v. 地域の安心・安全

・地域の安心・安全に関しては、「歩道・通学路を含む道路の整備・拡幅」、「街灯の増設」に関する意見が圧倒的に多かった。その他、「防犯活動やパトロール」を望む意見も多く見られた。
・少数意見ではあったが、「防災無線・防災放送が聞こえづらい」、「駐車場不足」、「防犯カメラの設置増加」、「防災訓練の見直し」といった意見も見られた。

- ① 歩道・通学路を含む道路の整備・拡幅を行ってほしい（51件）
 - ② 街灯を増やしてほしい（40件）
 - ③ 防犯のための活動やパトロールを増やしてほしい（11件）
- ・防災無線、防犯放送が聞こえない、何を言っているのかわからない。
 - ・駐車場が少ない。
 - ・防犯カメラを設置してほしい。
 - ・防災訓練の見直しをしてほしい。

vi. 健康・スポーツ

- ・健康・スポーツに関しては、「無料又は安価で実施できる教室やイベントの開催」、「ジムやプールなどの施設建設」、「ジョギングコースの設置」に関する意見が多く見られた。
- ・少数意見ではあったが、「公園の整備・改善」、「まちづくりセンターでのサークル情報の入手希望」といった意見も見られた。

- ① 無料又は安価で実施できる教室やイベントの開催（15件）
 - ② ジムやプールといった施設を作してほしい（7件）
 - ③ ジョギングコースやウォーキングポイントを設置してほしい（4件）
- ・公園の遊具を整備。改善してほしい。
 - ・まちづくりセンターでのサークル情報を教えてほしい。

vii. 地域の歴史・文化

- ・地域の歴史・文化に関しては、「柳瀬地区の歴史・教養講座の開催」、「民族資料館や黄林閣などの認知度が低い」、「史跡ウォーキングの実施」に関する意見が多く見られた。
- ・少数意見ではあったが、「柳瀬の伝統を子どもたちやほかから来た人たちにアピールする機会の増加」といった意見も見られた。

- ① 柳瀬地区の歴史・教養講座の開催（12件）
 - ② 民俗資料館や黄林閣などの認知度が低い、どこで学べるか分からない（8件）
 - ③ 史跡ウォーキングを実施してほしい（3件）
- ・柳瀬の伝統を子どもたちやほかから来た人たちにアピールする機会を増やしてほしい。

viii. 意見・要望

- ・意見・要望に関しては、「まちづくり協議会の名前は知っているものの、その活動内容が分からない、又は自治会との区別が分からない」という意見が多く見られた。またここでも、「バスの増便を望む」意見が多く見られた。
- ・少数意見ではあったが、「防災訓練の内容改善（より実践的に）」、「下水道整備の推進」、「従者スペースの確保（児童館、公園等）」、「自治会の案内、加入促進」、「サクラタウンがオープンの際、地域の方が参加できるイベントの開催」、「畑の適正な管理（土砂対策など）」、「自治会とまちづくり協議会の関係が不明確」、「外国人とのコミュニケーション対策」などの意見も見られた。

- ① まちづくり協議会の名前は知っているものの、その活動内容が分からない、又は自治会との区別が分からない（17件）
 - ② バスを増便してほしい（7件）
- ・防災訓練をもっと実践的な内容にしてもらいたい（2件）
 - ・下水整備を早くしてほしい（2件）
 - ・児童館や公園などに駐車スペースがなく、行きづらい。
 - ・自治会の案内や加入の勧めをしてほしい。
 - ・サクラタウンがオープンの際、地域の方が参加できるイベントができるといいと思う。

- ・ 畑の管理について。土が道路に流れこんで危ない。
- ・ 自治組織とまちづくり協議会との関係が不明確。
- ・ 最近海外の人が多く見られます。何か災害などがあった場合、困らないように地元の人とのコミュニケーションをとっていくことが必要だと思う。

2-2 柳瀬地区の課題集計結果

前節で整理した自由記載の内容から、特に多かった意見を集計すると以下の通りであった。

① 道路整備及び安全確保に関する要望	81件
② バスの増便に関する要望	79件
③ ゴミの出し方、マナー向上に関する要望	73件
④ 駅及びインター周辺の活性化	51件
⑤ 街灯・防犯灯などに関する要望	43件

これら特に多かった要望については、現在、柳瀬地区に居住している市民の皆様が日頃不都合と感じ、かつ、関心の高い地域課題として市関係各課に適切に伝え、改善の糸口としていくことが期待される。また、他事例なども参考に、官民が連携して柳瀬地区独自の取り組みを進めていくことも期待される。

- ① 「道路整備及び安全確保」に関しては、ハード面の要望として市関係課へ地域要望として適切に伝えていく必要がある。これらハード面の対策推進とともに、例えば意見の中で多かったのは「通学路の見守り隊」などに関しては、まちづくり協議会が自治会などとも協力しながら取り組みを推進していくことが期待される。
- ② 「バスの増便」に関してはまず、市関係課へ地域要望として適切に伝えていく必要がある。その際、後述する「市民協働型コミュニティバス」の事例なども参考に（3-1節参照）、まちづくり協議会が主体となって実証運行していく事の可能性についても官民が連携して検討してみてもどうか。
- ③ 「ゴミの出し方、マナー向上」に関しては、後述する他地域の事例も参考にしながら（3-2節参照）、市関係課とまちづくり協議会が連携してマナー向上の講習や啓蒙活動などを積極的に実施していくことが期待される。
- ④ 「駅及びインターの活性化」に関しては、市の関係各課（まちづくり関連など）へ地域要望として適切に伝えていく必要がある。併せて、地域住民として駅及びインター周辺エリアの活性化を具体的にどう望んでいるかを地域意見として上手に取りまとめ、市関係各課に適切に提案していくことが期待される。
- ⑤ 「街灯及び防犯灯の関する要望」に関しては、所沢市においては、要望に応じて街路灯を適宜設置している。また、防犯灯については自治会への補助制度がある。街灯や防犯灯の設置が望まれる場所などを市関係課へ地域要望として適切に伝えていく必要がある。

これらの多数意見の他、本アンケートでは貴重な少数意見も多く聞かれた。これら少数意見に関しても、まちづくり協議会として考えていくべき課題、そして、地域として取り組める課題もあると考えられる。一例を以下に示す。

- a. 本アンケートなどを通じて、まちづくり協議会の「認知度」が低く、「まちづくり協議会と自治会との役割や機能の違い」が浸透していないことが判明した。それぞれの違いを明確化し、柳瀬地区居住者に分かりやすい形で広報していくことも必要である。（3-4節参照）

- b. 「地域の歴史・文化をより積極的に知り、地域に発信」していきたいといった意見も見られた。他事例では（3-5 節参照）、市ホームページの中にまちづくり協議会のイベント情報を集約するなどにより、なるべく地域住民が情報を簡単に得る機会・手段を工夫している。
- c. サクラタウン建設に伴い「外国人の増加に関する不安、コミュニケーション支援」への声も複数見受けられた。後述する他地域の事例も参考にしながら（3-6 節参照）、外国人居住者との上手なコミュニケーションづくりに関する対策を地域として考えていく必要がある。
- d. 地域住民の困りごとや相談ごと、提案などをワンストップで受け付ける「よろず相談窓口」をまちづくり協議会が主体となって運営している事例もある（3-7 節参照）。柳瀬地区まちづくり協議会でも可能な範囲から徐々に行っていくことが期待される。

2-3 重点課題の世代×エリア別集計結果

前節で整理した特に多かった意見を、世代×エリア別で集計すると以下の通りであった。

- ・ 道路整備に関する要望は、要望数、割合ともに南東エリアが最も高く、60代からの要望が多かった。
- ・ バスの増便に関する要望は、要望数は東所沢エリア、割合は南永井エリアが最も高かった。南永井エリアでは60代から、東所沢エリアでは60代、70代からの要望が多かった。
- ・ ゴミ問題に関する要望は、要望数、割合ともに東所沢エリアが最も高く、60代、70代からの要望が多かった。
- ・ 駅、インターの開発に関する要望は、全世代、全エリアからバランスよく出ているが、要望数は東所沢エリア、割合は南永井エリアが最も高かった。
- ・ 街路灯整備に関する要望は、40代以降の世代からバランスよく出ているが、要望数は東所沢エリア、割合は南永井エリアが最も高かった。

世代×エリア別意見・要望

- 凡例 ・ 一番多かったもの（世代×エリア別）並びに10以上の回答があったものについては **■**として標記。
 ・ 「%」は、エリア別回答数/総意見数（*右下参照）の割合を示す。

道路整備

	南東	日比田	南永井	東所沢	計
30代	1	0	1	2	4
40代	7	0	3	5	15
50代	4	1	4	5	14
60代	16	4	8	1	29
70代	6	3	3	6	18
80代	1	0	0	0	1
計	35	8	19	19	81
%	48.6%	19.5%	32.2%	10.9%	23.4%

バス増便

	南東	日比田	南永井	東所沢	計
30代	1	0	0	3	4
40代	2	0	1	4	7
50代	1	1	5	3	10
60代	4	1	10	12	27
70代	7	0	2	16	25
80代	3	0	1	1	5
計	18	2	19	39	78
%	25.0%	4.9%	32.2%	22.4%	22.5%

ゴミ問題

	南東	日比田	南永井	東所沢	計
30代	1	0	0	1	2
40代	1	1	0	5	7
50代	0	0	3	8	11
60代	5	4	7	12	28
70代	1	1	2	15	19
80代	3	0	0	3	6
計	11	6	12	44	73
%	15.3%	14.6%	20.3%	25.3%	21.1%

駅・インター開発

	南東	日比田	南永井	東所沢	計
30代	1	1	0	1	3
40代	2	0	2	3	7
50代	1	1	1	6	9
60代	6	3	4	6	19
70代	1	0	3	8	12
80代	1	0	0	0	1
計	12	5	10	24	51
%	16.7%	12.2%	16.9%	13.8%	14.7%

街路灯整備

	南東	日比田	南永井	東所沢	計
30代	0	0	0	0	0
40代	2	0	2	1	5
50代	0	1	3	6	10
60代	4	1	5	3	13
70代	2	0	2	8	12
80代	1	1	1	0	3
計	9	3	13	18	43
%	12.5%	7.3%	22.0%	10.3%	12.4%

総意見数

南東	日比田	南永井	東所沢	計
72	41	59	174	346

※無記載意見6件

3. 他地域の事例

3-1 市民協働型コミュニティバスの事例

課題：バス増便の要望に応える。

道路運送法に基づく自家用有償旅客運送（市町村運営有償運送）にてまちづくり協議会主導で運営している事例を以下の通り示す。

i. 宮崎県都城市庄内地区まちづくり協議会

県内初！市民協働型コミュニティバスの実証運行を始めます

庄内地区まちづくり協議会が、公共交通空白地の解消などを図ることを目的に、11月17日から、市民協働型コミュニティバスの実証運行を始めます。

通常は、自治体による直営、もしくは事業者への運行委託であるが、当該事業は、都城市が、任意団体である住民組織「庄内地区まちづくり協議会」へ委託を行う実証運行で、県内では初の試みです。

○これまでの経緯

- ・平成26年3月 都城市地域公共交通総合連携計画を策定。庄内地区における公共交通網の人口カバー率が、市内で最低であることが明らかになりました。
- ・平成28年8月 地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づく協議会『都城市地域公共交通会議』において、庄内地区における実証運行を同意。

○実証運行の概要

- ・道路運送法に基づく自家用有償旅客運送（市町村運営有償運送）
※10人乗り車両（白ナンバー）による実証運行。

市の役割

- ・都城市地域公共交通会議を通じた、関係機関や交通事業者との調整
- ・道路運送法上の登録手続、運行経費等の拠出（委託費：平成28年度分約130万円）

まち協の役割

- ・運行内容の企画、運行の維持（運転手の確保、運転手の管理含む）

路線・運賃

- ① とうざいまち東西町線（月曜日・木曜日に実証運行）
- ② 平田乙房線（月曜日・木曜日に実証運行）
- ③ 関之尾川崎線（火曜日・金曜日に実証運行）
- ④ 菓子野線（火曜日・金曜日に実証運行）

※いずれの路線も1日に4便運行。庄内まち協事務局のある庄内地区公民館が起点

運賃： 1人1月 500円で乗り放題

○ねらい

- ・公共交通空白地の解消はもとより、コミュニケーションツールとしても実証運行
- ・地域コミュニティの結束強化（住民同士の支え合い）
- ・まちづくり協議会の存在価値（地域貢献を形にする）
- ・高齢者などの外出と見守りの促進および健康増進（地区内全自治公民館で実施する”こけないからだづくり講座”などとの連携）

○出発式

11月17日（木） 午前11時から庄内地区公民館敷地

問い合わせ：総合政策課 23-2115

3-2 ゴミの分別に関する事例

課題：ゴミの分別マナーの向上を啓蒙する。細かいゴミの分別を行うことが環境及び地域のメリットに繋がっていることを住民に知ってもらう。他地域の事例を以下に示す。

i. 鎌倉市

鎌倉市では平成 27 年 4 月 1 日から家庭系ごみを有料化。有料袋に入れて出すことで、ごみの発生抑制や、出す量に応じた費用負担の公平化を図るのが目的。

「飲料用カン・ビン」「ペットボトル」、プラスチックは「容器包装プラスチック」（週 1 回）と「製品プラスチック」（月 1 回）、「紙類・布類」（週 1 回）など大分類で 10 種。

家庭の「燃やすごみ」「燃えないごみ」は有料。素材を確認しながら間違いなく品物ごとに分けてルール通りに出すために、説明書を充実させている。

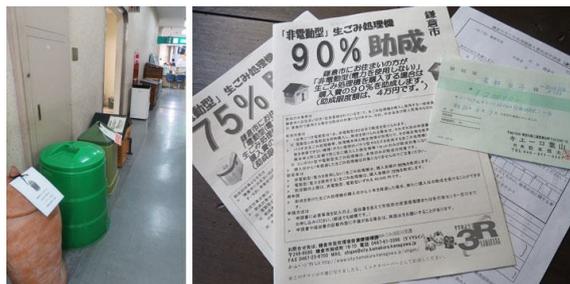


図1 燃やすごみの収集量（前年同月比）



【図1】平成 27 年 4 月から有料化された燃やすごみ。無料だった前年同月と比べて平均で約 16%減、さらに有料化前には重量ベースで燃やすごみの中に約 26%混入していた資源物が 13%になるなど、はっきり目に見える削減効果があったという（資料提供/鎌倉市役所環境部ごみ減量対策課）

家庭系の燃やすごみの内訳では、重さの約半分を占めるのが生ごみ。生ごみは家庭でも処理できることから、鎌倉市では平成 3 年から生ごみ処理機購入費助成制度を実施。現在では非電動型は 90%、電動型でも 75%の助成を実施。（助成額の上限は 4 万円）。市役所の廊下には、助成対象の生ごみ処理機が展示されている。市役所の窓口で助成金を差し引いた金額を支払って購入手続きすることもできる。



ii. 愛媛県松山市

愛媛県松山市ではまちづくり協議会が主体となっており、ごみの削減活動やごみの分別のための講習、啓蒙活動を実施している。



◎石井地区まちづくり協議会
「EM菌を活用したごみ減量」

石井地区まちづくり協議会では住民レベルで環境問題に取り組むため、EM菌を使った生ごみの減量対策を行っており、町内会を中心にEM容器や活性液などが配布されています。

EM菌とは、有機微生物群のことです。英訳 Effective Microorganisms の頭文字をとってEM菌と呼ばれています。

EM容器を使うことで、生ごみの量は約10分の7程度軽減することができ、さらに、ごみの分解で出た水分は、水で薄めて植物の液肥、排水管・トイレに流して消臭・洗浄に利用することができます。



地域でのエコ活動



◎生石地区まちづくり協議会
「3010運動で意識改革」

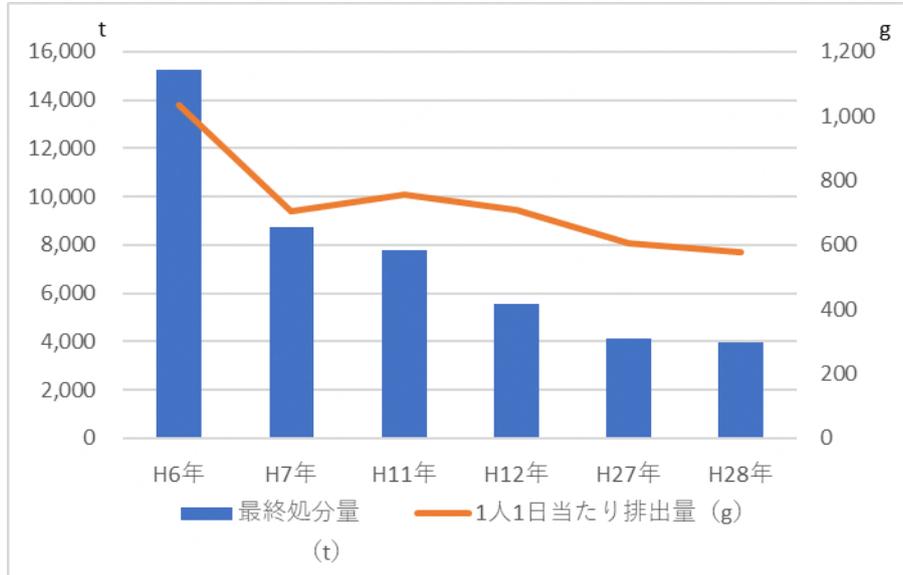
生石地区まちづくり協議会環境部主催で、ごみの分別とリサイクルについての講習会が開催されました。今回の講習では、松山市のごみ減量対策や3010運動が紹介されました。

3010運動とは、会食のスタートから30分間と終了前の10分間は自分の席で料理を楽しもう、という運動です。これを心がけることで、食べ残しで廃棄される食品を大幅に削減できます。また、正しい分別を心がけることでリサイクルされるごみが増え、エコ活動につながります。今回の講習を踏まえ、今後地域で何を取り組んでいけるかを話し合っていく予定です。



iii. 千葉県野田市

千葉県野田市ではゴミのマナー向上のため、ゴミ袋への記名式を採用している。市民からは賛否両論の声があるが、マナー向上及びゴミの削減には繋がっており 20 年間でゴミの最終処分量は四分の一近くまで減少している。



{指定ゴミ袋導入}

{記名式導入}

	1人1日当たり 排出量 (g)	最終処分量 (t)
平成6年	1,033.4	15,253.6
平成7年	704.0	8,718.5
平成11年	754.6	7,788.7
平成12年	707.6	5,569.0
平成27年	604.2	4,139.7
平成28年	576.8	3,971.8

※野田市 HP より抜粋

3-3 WEB サイトを活用した情報発信に関する事例

課題：認知度を高める

認知度向上のために他地域で実施されている WEB サイトを活用した情報発信に関する事例を以下の通り示す。

i. 新井薬師前駅周辺地区まちづくり協議会 (<http://www.arai894.com/>)

対象面積 130ha、約1万5千世帯、約2万4千人が居住するエリアの協議会。

まちづくり構想の資料もPDFでダウンロード可能などまちづくりの情報が集約されているサイトとなっている。

The screenshot shows the website's navigation menu on the left with buttons for '活動報告', 'まちづくり通信', 'まちづくりの動き', 'まちのイベント情報', 'イベントレポート', 'リンク集', and '問い合わせ先'. The '問い合わせ先' button is circled in red. The main content area features a large photo of a cherry blossom festival at a shrine, with a red banner that reads '新井薬師前駅周辺地区まちづくり協議会'. Below the photo is a section titled '会合のご案内' with a table of upcoming events.

次回以降の協議会の活動予定		
運営委員会：	平成30年12月26日（水） 午後7時より	上高田区民活動センター 2 F
	平成31年1月	

まちづくりの目標「災害に強く助け合えるまちをつくる」

方針1 災害に強いまちづくり

- 燃えにくく倒れにくい災害に強いまちを目指します。
 - ・木造密集市街地の改善
 - ・老朽化した建物の建替えや耐震補強の促進
 - ・西武新宿線の地下化や道路・駅前広場整備に併せた不燃化促進
 - ・火をださない、火を消せるまちに向けた協力
 - ・まちづくりのルール化（地区計画等）に向けた検討
 - ・道路や宅地の雨水対策等による都市型水害の被害の軽減
- 安全に避難できるまちを目指します。
 - ・安全に避難できる避難路や避難所の確保（通り抜け協定等）
 - ・西武新宿線上部の避難路への活用
 - ・狭い道路の拡幅と電柱移設等に向けた協力

方針2 被害を減らす仕組みづくり

- 自分たちのまちの防災を知ることにより、防災意識を高めます。
 - ・自分の家の周りの防災設備の確認
 - ・防災（危険箇所）マップの共有
 - ・町会、商店街を横断する防災訓練の実施
- 自分たちで初期消火のできるまちを目指します。
 - ・防災井戸、スタンドパイプ等の活用（体制、仕組みづくり）
 - ・防火水槽、消火器の設置
 - ・火災時に住民相互が消火活動に活用可能な屋外水栓利用に向けたじゃくち協定の検討
- 災害時に助け合えるコミュニティを目指します。
 - ・町会、商店街を横断する災害時の協力と防災備蓄情報の共有
 - ・ボランティアのネットワーク化
 - ・災害弱者への対応

6. まちづくりの推進

短期的な取り組み	中、長期的な取り組み
利便性が高く人にやさしいまちをつくる	
方針1：利用しやすい駅前の拠点づくり	
<ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺のマナーキャンペーンの継続 	<ul style="list-style-type: none"> ・乗り換えの利便性の向上 ・駅へのアクセスやバリアフリーへの配慮 ・駅前広場と一体となった「人が集えるスペース」の確保 ・駅利用者の送迎スペースの確保 ・駅利用者のおもてなし駐輪場の確保 ・分煙化に向けた喫煙場所の確保
方針2：歩行者、自転車、バス等が共存できるまちづくり	
<ul style="list-style-type: none"> ・自転車利用のマナー講習の実施 ・放置自転車対策の継続 	<ul style="list-style-type: none"> ・バス、自動車等の交通動線の見直し ・都市計画道路、哲学堂・門前通りの歩行者の空間の充実（歩道整備、電線類地中化） ・哲学堂・門前通りの歩行者天国等の検討
散歩が楽しいまちをつくる	
方針1：歴史や文化を継承していくまちづくり	
<ul style="list-style-type: none"> ・歴史や文化の収集整理 ・学校との連携 ・ホームページ等を活用した歴史や文化の情報発信 ・古道や哲学堂・門前通りを中心とした散策ルートの検討 ・寺社等と連携したイベントの実施 ・ゴミを捨てない捨てさせない環境づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・寺社マップやまち歩きマップ等の作成 ・ガイドツアー等によるまちの歴史や文化の紹介 ・寺社等の休憩スペースの活用や空き店舗等を活用したお休み処等の誘致 ・駅や商店街、寺社等と連携したイベントの実施 ・歴史や文化を意識した景観形成
方針2：緑が繁がるまちづくり	
<ul style="list-style-type: none"> ・緑化の推進や自主ルールの検討 ・住宅街や商店街でのプランターの設置 ・中野通りの桜並木や五中つつじ通りのつつじ等の保全 ・宅地内で育まれた樹木の保全 	<ul style="list-style-type: none"> ・駅前広場や都市計画道路の植栽等の整備 ・西武新宿線上部空間の緑道誘致と妙正寺川沿いの公園緑地との連携 ・新井薬師公園、哲学堂公園の池等の自然環境の活用

3-4 地域で行われている歴史・教養講座

課題：住民に地域の歴史、文化に触れてもらい地域への愛着を持ってもらう。地域の活動にも参加してもらうことで連帯感を高める。他地域の事例を以下に示す。

i. 岐阜県不破郡垂井町(<http://www.town.tarui.lg.jp/docs/2015030600067/>)

岐阜県不破郡垂井町府中地区まちづくり協議会では、垂井町ホームページ内にまちづくり協議会主導のイベントを集約しており、歴史・教養講座の他、防災活動も実施している。

Welcome to Tarui Town.  サイトマップ お問い合わせ 携帯サイト 各課のページ
音声を読み上げる 文字サイズの変更 小中大 検索

ホーム	暮らし・手続き	保健・子育て	町の政治	事業者の方へ	観光・イベント
-----	---------	--------	------	--------	---------

TOP > 協議 > 府中地区まちづくり協議会 (府中地区まちづくりセンター内)
TOP > 分野 > まちづくり協議会

府中地区まちづくり協議会 2019年1月16日



・ [第7回まちづくり研修会「防犯と交通安全」](#) 平成30年12月17日 (月)

・ [第6回まちづくり研修会「防災訓練」](#) 平成30年12月2日 (日)

・ [第66回府中地区文化祭](#) 平成30年11月11日 (日)～17日 (土)
♪ [プログラム表](#)・[裏](#)♪

・ [第5回まちづくり研修会「ふれあいトーク」](#) 平成30年11月1日 (木)

・ [府中歴史教室 \(町外研修\)](#) 平成30年10月7日 (日)

・ [ふれあいスポーツin府中](#) 平成30年10月14日 (日)

・ [ピオトープづくり2018&植物観察会](#) 平成30年10月27日 (土)

・ [第4回府中歴史教室「美濃国分寺を訪ねて」](#) 平成30年9月1日 (土)

・ [まちづくり研修会「自主防災リーダー育成講座」](#) 平成30年8月11日 (土・祝)

・ [まちづくり研修会「起震車体験」](#) 平成30年8月11日 (土・祝)

・ [第3回府中歴史教室](#) 平成30年8月4日 (土)

・ [いきいきふれあいサロン「歩行環境シュミレータ\(わたりジョーズ君\)を体験しよう！」](#) 平成30年7月23日 (月)

・ [府中地区ラジオ体操大会](#) 平成30年7月15日 (日)

・ [第2回教養講座](#) 平成30年7月14日 (土)

・ [第2回府中歴史教室「不破関見学」](#) 平成30年6月30日 (土)

・ [ホタルまつり](#) 平成30年6月9日 (土)
→[ホタル鑑賞バスツアー参加申し込み用紙](#)

回覧

**第1回 ふれあい歴史ウォーク
美濃国府跡周辺の散策
意外と知らない地元の歴史発見！**

開催日 : 平成30年 4月14日 (土)
 集合場所 : 府中地区まちづくりセンター
 集合時間 : 午前8時30分
 行き先 : センター(9時出発) ◯民安寺跡の石灯籠、館守神社
 ◯美濃国府跡 ◯忍勝寺 ◯すずかけ草生地
 ◯安立寺 ◯府中城跡 ◯センター(11時30分頃到着予定)



持ち物 : 飲み物、タオル
 雨天の場合 : 府中地区まちづくりセンターにてビデオ観賞を行います
 「美濃国一の宮南宮大社と御旅神社」
 主催 : 府中地区まちづくり協議会
 TEL 23-2002

回覧

平成30年度 第3回 府中歴史教室

**南宮大社と
南宮御旅神社の由緒**

美濃国一の宮で知られる南宮大社はこの秋、式年遷宮祭(11月2日～4日)を挙ります。

この機会に、「南宮大社と南宮御旅神社の由緒」について、宇都宮宮司からお話を伺うことになりました。皆様のご参加をお待ちします。



日時 平成30年 8月 4日(土) 午後2時～午後4時
 場所 府中地区まちづくりセンター 2階 研修室
 講師 南宮大社 宇都宮精秀宮司
 持ち物 筆記用具

府中地区まちづくり協議会

回覧

**第4回 府中歴史教室
美濃国分寺を訪ねて
美濃国分寺と美濃国府の関係は？**

今回は当初予定を変更し、美濃国分寺と美濃国府の関係を学びます。併せて源氏ゆかりの里 青墓に伝えられる源義朝父子の物語りにについても学習します。

開催日 : 平成30年 9月 1日 (土)
 集合場所 : 府中地区まちづくりセンター
 行き先 : 大垣市歴史民俗資料館、円興寺
 集合時間 : 12時40分
 乗物 : センターに集合して自家用車の乗り合わせで移動します。
 行程 : 13時 府中地区まちづくりセンター出発
 : 13時30分 大垣市歴史民俗資料館訪問(牧村館長による説明)
 : 15時 円興寺訪問
 : 16時30分 センター帰着
 定員 : 25名程度
 会費 : 200円(入館料他)
 参加申し込み締め切り: 8月29日(水)
 お問い合わせ、お申し込みは府中地区まちづくり協議会(TEL 23-2002)へ



主催 府中地区まちづくり協議会
ふるさとの歴史を学ぶ会

回覧

平成30年度「自主防災リーダー育成講座」

思いもしない時に、思いもしなかった事が...これが災害です。その時に備えて、スムーズに行動できるよう防災の知識を学び、基礎訓練を繰り返しましょう。

第1回 自主防災リーダー育成講座(第3回 まちづくり研修会)

① 日時	平成30年8月11日(土・祝) 13時～16時30分
② 場所	府中地区まちづくりセンター 2階 研修室
③ 内容	13:00～13:25 開講式 飛井町企画調整課 講話
	13:25～14:45 救急救命、AED (演習)
	14:50～15:30 初期消火、起震車を体験しよう (体験)
	15:30～15:40 休憩
	15:40～16:30 「防災・減災について」村岡雅教授講話 (座学)

第2回 自主防災リーダー育成講座(第4回 まちづくり研修会)

① 日時	平成30年9月16日(日) 9時～12時
② 場所	府中地区まちづくりセンター 2階 研修室
③ 内容	9:00～9:20 府中地区の防災・減災について (座学)
	9:20～9:50 日常の救急処置について (座学)
	9:50～10:10 東日本大震災支援活動体験談 (座学)
	10:10～10:20 休憩
	10:20～11:40 避難所運営机上訓練(HUG) (演習)
	11:40～12:00 講評・修了証授与

(注)申し込み締め切り:8月5日(日)
ただし、定員30名になり次第、締め切らせていただきます。

府中地区まちづくり協議会
TEL・FAX 23-2002

3-5 増加する外国人への対応事例(外国人向けのWEBサイトの活用)

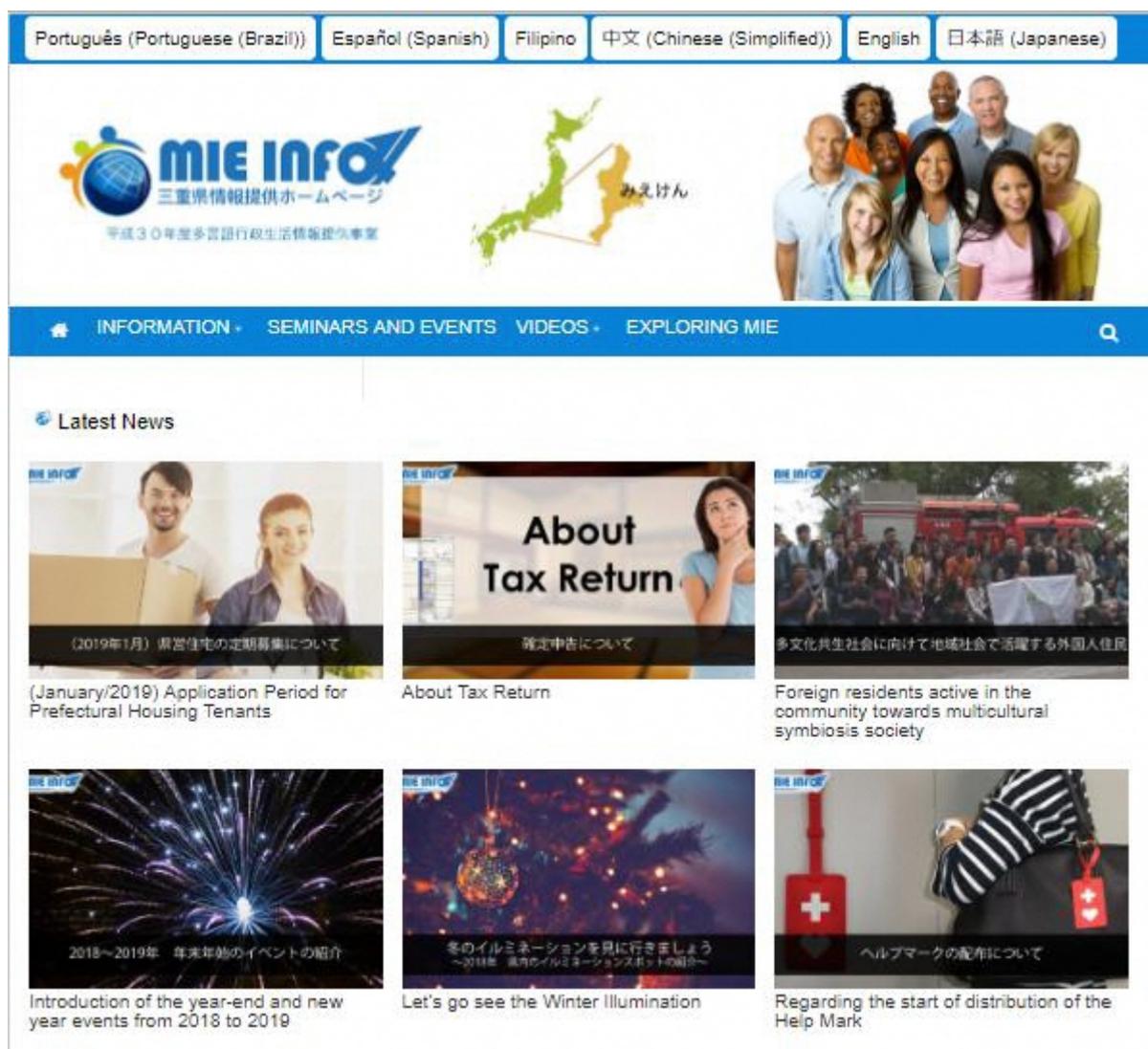
課題：外国人に向けた生活情報の浸透

外国人居住者向けに特化した情報発信の仕組みを構築している自治体の取り組みを2つ以下に示す。

i. 三重県 (<http://mieinfo.com/en/>)

三重県では、コミュニケーション不足、文化や習慣の違い、情報不足によって行政サービスが受けられない外国人の問題があった。そこで、さまざまな情報を日本語、ポルトガル語、英語、スペイン語という4つの言語で提供する「多言語行政生活情報提供事業」の1つとして、「三重県情報提供ホームページ」を開設。

運営は三重県在住のブラジル人が経営する企業に委託していて、在住外国人の視点も反映されているのが特徴。また、単に情報を提供するだけでなく、在住外国人の地域社会への参画も促しているのが特徴。



ii. 岡山県 (<http://www.opief.or.jp/tabunkamap/en/>)

岡山県では、以前は在住外国人に対してチラシの掲示などによって情報を提供。しかし、それでは外国人が本当に必要としている情報を的確に届けられないと、一般財団法人岡山県国際交流協会が主体となって「岡山多文化共生マップ」という HP を 2010 年に制作。

この HP は地図情報サービスを利用し、日本語、英語、中国語、ポルトガル語の 4 言語で、生活に役立つ情報を提供しようというもの。県内にある施設を「生活・観光」「在留資格」「ことば」「仕事」「医療」「無料相談」という 6 つの項目にカテゴライズしてコンテンツを発信。

また、「日本語学校」「市町村役場」「法律相談」「休日夜間急患診療所」といった、重要かつ急を要する内容の発信、スマートフォン対応も可能。利便性も兼ね備えた情報発信で、在住外国人の暮らしやすさをバックアップしている。

岡山多文化共生マップ
Map for Multicultural information and assistance
岡山多文化共生地圖 在外知事官事務官 曹
Mapa de Informações e Assistência Multicultural
Bản đồ thông tin và trợ giúp tỉnh Okayama

Okayama Prefectural International Exchange Foundation
PIEF
Okayama Prefectural International Exchange Foundation

日本語 English 中文 한국어 português Tiếng Việt

Studying Japanese

Japanese Language Schools

Japanese Language Classes

Daily Life/Sightseeing

International Exchange Organizations

Municipal Governments

Status of Residence (Visa)

Immigration and visas

Proceedings for family register and nationality

Work

Consultation on Work Conditions

Employment service, job offer, employment insurance benefits

Medical Treatment

Japanese Language Schools

...To see the detail of the place, please click on the mark on the map.

There are some Japanese Language Schools which provide Japanese lessons to foreigners who come to stay in Japan to learn Japanese. For qualifications and terms, please make direct contact with each school.

Japanese Language Schools

地図データ ©2019 Google, ZENKIN 利用規約 200m

[List of placements and expanded map](#)

★Please note that all the questions listed here are accepted in Japanese language basically. Even if the other language available is specified, please note that the available time may be restricted.

3-6 地域の困りごとへの相談窓口事例

課題：地域での困りごとをワンストップで受付ける。

「ここに相談すればまずは受付てもらえる」という安心感を住民にもってもらえるような窓口の他地域の事例を以下に示す。

i. 神戸市西区 (<https://www.nishiwel.or.jp/topics/8465/>)

「くらしなんでも相談」が開設されました（高津橋ふれあいのまちづくり協議会）

地域の身近な相談窓口として、高津橋ふれあいのまちづくり協議会主催による「くらしなんでも相談」が、平成29年9月8日（金）より開設されました。

「くらしなんでも相談」は、ご近所のちょっとした困り事や日常生活での不安解消に向け、地域で何かできることがないか…。そのような思いから、高津橋ふれあいのまちづくり協議会が中心となり、立ち上げたものです。

奇数月の第2金曜日10時～12時に高津橋地域福祉センターにて開設され、西区社会福祉協議会が行っている「心配ごと相談」での相談員経験者や、玉津東地区民生委員児童委員協議会の協力を得て、関係機関の紹介やアドバイス等を行います。

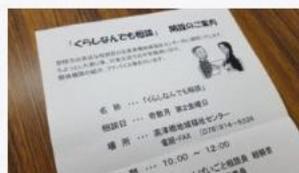


この日は、同日に行われているふれあい喫茶に来られた方々に「くらしなんでも相談」が開設されたことをPR。

また、玉津あんしんすこやかセンターによる血圧測定や介護保険など高齢者に関する相談コーナーも併設し、喫茶を楽しまれた後に、たくさんの方がのぞきに來られました。

「ご近所の困り事、いままで『どこに相談したらいいの?』と思っていた」

「役所や関係機関に向かなくても、まず地域でちょっと相談できる場ができた」などの声がかかれ、気軽に相談できる窓口の1つとして、今後の活用が期待されます。



「くらしなんでも相談所」

相談日：奇数月 第2金曜日（次回、11月10日です）

時 間：10：00～12：00

場 所：高津橋地域福祉センター

主 催：高津橋ふれあいのまちづくり協議会

後 援：神戸市西区社会福祉協議会